



日本初！「ペットと一緒に入院治療」受付開始

本年4月1日より松波総合病院では、海津市医師会病院（岐阜県海津市）の協力を得て、病院附設の「ペットおあずかりセンター」(Your pet in Hospital) および、「ペットと一緒に入室できる病室」(With Pet Ward, 略称WPW) による、日本では初めてとなる「ペットと一緒に入院治療」の受付を開始しました。

コロナ禍に起こった空前のペット・ブームと単身世帯の増加に伴い、ペットを飼う単身者が増えています。それに伴い、病気や怪我などで入院が必要になっても、ペットの世話ができなくなると入院を拒まれる例が散見されるようになりました。入院から退院まで自分のペットと一緒に過ごすことができれば、心身が安らぎ、より早い回復も期待できます。そんな患者さんのご要望にお応えして、まずはイヌを対象とした「ペットと一緒に入院治療」を始めます。

■「ペットと一緒に入院治療」とは

当院に入院される患者さんのペットを、当院敷地内に新設した「ペットおあずかりセンター」でお預かりします。「ペットおあずかりセンター」は、病院の敷地内にあることから、入院中に何度もペットと面会ができます。

当院での急性期医療や評価が完了した患者さんは、連携推進法人のパートナーである海津市医師会病院に新設した「ペットと一緒に入室できる病棟」に転院し、治療を続けていただきます。同院にはペットの飼育環境に配慮するため、ドッグ・ランも整備しました。

【松波総合病院について】

松波総合病院は1902年創立の地域医療支援病院・地域災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院で、病床数は501床です。海津市医師会病院及び美濃市立美濃病院と共に「地域医療連携推進法人美濃国地域医療リネージュ」を構成しています。

お問い合わせは、松波総合病院ペットおあずかりセンター担当の合澤(あいざわ)までお願い申し上げます。電話(058)388局0111番(代表)。